

社協 くさつ



2025.
11.1

NO.187

編集・発行
社会福祉法人
草津市社会福祉協議会

[目 次]

P1 70年の歩み

P3 草津市社協って？

P5 未来の自分へタイムカプセル

P7 草津市社協掲示板

裏面 心のこもった宝物 他

地域と共に歩んだ70年
これから共に



議会 70年の歩み



ふくちゃん誕生



ボランティアフェスティバル開催

10年間で参加者約17,000人ボランティア約700人が参加



災害ボランティアセンター
運営訓練実施

有事の際にボランティア活動が円滑に進むよう
日常的に訓練や研修会を実施

2010



フードバンク事業

ご寄付いただいた食品を
必要とされる方へお渡し



生活支援体制整備事業受託

各学区に生活支援
コーディネーターを設置
地域と専門職が共に地域課題に
ついて考える
「医療福祉を考える会議」
を実施

2020



つながりサポート事業開始

生理用品の提供を通じて不安を
抱える女性を支援



ボランティアマルシェ

身近に福祉に触れてもらう
機会になるよう学生の協力を
得ながら実施

2025

2014
中間支援組織として指定



地域福祉懇談会

地域の活動者と
学区の未来について語り合う



地域支え合い運送事業

外出が困難な方をボランティア
の協力を得て送迎

2015



草津市福祉教養大学開校

地域福祉活動の第一歩となるような
語り講座を開講



まごころ便お届け

コロナをきっかけにご寄付いただいた
物品等を頑張る団体へお渡し



福祉委員研修会

市内の福祉委員活動の支援・
活性化を図るための研修会を実施



法人連携

市内福祉施設・事業所と連携し
地域活動の発展を目指す



電話訪問事業

65歳以上の独居高齢者を
電話で訪問



草津市と草津市災害
ボランティアセンター
の運営等に関する
協定締結



草津市・草津青年会議所
と災害時の被災者支援に
関する相互協力協定締結



こどもの居場所
サポート事業

こども食堂を応援

草津市社会福祉協

草津市社協はこれまで70年
地域の皆様と一緒にどんな時も歩みを止めず
ひたむきに真っすぐ地域福祉に取り組んできました。
これまで関わってくださった皆様ありがとうございます。
そしてこれからも草津市社協をよろしくお願いいたします。



1955
草津市民生委員児童委員
協議会事務局



1982
日本赤十字社滋賀県支部
草津市地区事務局



1958
心配ごと相談所開設
身近な暮らしの相談所



貸付事業

1959～ 生活福祉資金
1975～ 生活つなぎ資金
生活の安定に向けた
貸付金



地域福祉権利擁護事業

判断能力が充分でない方の
福祉サービスの利用に関する
手続きや利用料の支払いなどを支援



近所力アップ講座

地域に出向き、身近な
福祉専門職として講演



1997
高齢者地域サロン支援
身近な地域の高齢者の居場所



社会を明るくする運動

犯罪や非行の防止と更生について
理解を深め、安全安心な社会
を築くための運動



草津市ボランティア 連絡協議会発足

約40のボランティアグループが
参画する情報交換や交流の場



福祉教育の推進

手話・点字・盲導犬・車いす
体験等を実施

1955



1959
学区社会福祉協議会発足

1995
阪神淡路大震災以降職員が
災害時に被災地災害
ボランティアセンターへ支援

2000



草津市社会福祉協議会 発足

1970

1995



1960
社会福祉功労者表彰(旧福祉大会)
長年地域福祉活動に尽力された方を表彰



福祉車両貸出事業

福祉車両を貸出
運転ボランティアの協力を得て実施



赤い羽根共同募金運動の推進



広報紙「社協くさつ」創刊

HP、ボランティアの協力のもと
点字版も併せて作成



福祉機器リサイクル事業

一時的に車いすが必要になった方へ
短期間の貸出



収集ボランティア

ペットボトルキャップ・プルトップ
使用済み切手を福祉に役立てる



草津市地域福祉 活動計画策定

2009

住民福祉活動計画作成

ご存知ですか？ お答えします “社協について”

草津市社会福祉協議会

(通称 草津市社協または市社協)って
いったい何をしているところなんだろう？
その疑問にクイズ形式でお答えしています。
是非皆さんと一緒に答えを考えてみてください！
読み終える頃にはあなたも社協マスターです！

5

Q. 社協の独自財源は？

A. 事業費は市民の皆さんからいただく一般会費と企業等のご協賛による賛助会費、また寄付金等です。他に共同募金の配分金を財源に、皆さまのお住みの地域福祉活動を実施しています。

6

Q. 具体的には何をしているの？

A. 草津市社協は、すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、住民が主体となって地域で支え合える仕組みを、地域の皆さまやボランティア、福祉関係者、行政機関等と一緒に話し合い、「誰もが ころ温かく支えあい 住みつづけたい 福祉のまち・くさつ」をつくっていきます。
これまで取り組んできた各事業については前ページの年表をご覧ください！

7

Q. 草津市社協のキャラクターは？

2012年2月14日生まれ
趣味 握手・青花染め
特技は笑顔



A. 草津市社会福祉協議会公式キャラクター ふくちゃん

草津市の花である「青花」の妖精です。体の中心にあるハートは「みんなのしあわせ」を願い、小さな赤いハートは「温かい心」を、大きな足は地域や人をしっかり支えていることを表しています。ふくちゃんはいつも優しい心で私たちの幸せを祈っています。



愛ちゃん・希望くん



びわっ湖
ミンジー



チュウちゃん＆
リップちゃん



ハートラ
ちゃん



ホゴちゃん＆
サラちゃん

本会に関わりのある団体のキャラクターたちが
今回号のどこかにいるよ！探してみてね！

1

Q. 社協はいつ設置されたのですか？

A. 昭和 26 年

戦後間もない頃、民間福祉活動を強化するため国と都道府県に設置されました。
その後全国の市区町村に設置され、本会も昭和30年に設置、昭和43年に社会福祉法人として認可されました。

2

Q. 社協はどこにありますか？

A. キラリエ草津 (草津市立市民総合交流センター)

現在は、草津駅東口から徒歩5分の場所にあるキラリエ草津の4階に事務所があります。
駐車場もありますので、どうぞお気軽にお越しください。

3

Q. 社協はどのような人達で構成されていますか？

A. 社協は、市民を中心とした福祉の推進団体のため、その構成は社会福祉や医療、保健、教育等の関係者や、自治会など地域社会を形成するさまざまな団体や機関によって構成されています。したがって役員はすべて市民の代表で、会長、副会長、理事、評議員で構成されています。

4

Q. 社協は行政機関ですか？

A. 社協は行政機関ではありません

社協は、社会福祉法に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として規定された公共性と自主性を有する民間の組織です。
住民が会員となってみんなが安心して暮らし続けられるまちづくりを進めています。

10

Q. 年間の貸付相談件数は？

A. 生活つなぎ資金 77 件
生活福祉資金 464 件

11

Q. 歳末たすけあい見舞金を
受け取られた世帯数は？

※経済的事情により生活にお困りの
世帯に支給

A. 179 世帯 73 施設 他

12

Q. 民生委員・児童委員は何人いるの？

A. 246 人



8

Q. ボランティア活動者数を
教えてください

A. 348 団体 6,246 人

最高齢… 男性 97歳 女性 95歳

9

Q. 1年間でどのくらいの方が
心配ごと相談所を利用されて
いますか？

A. 300 件

20

Q. 年間のボランティア
コーディネート数は？

※ボランティア依頼に対する
調整・派遣

A. 222 件

16

Q. 年間の教養大学
受講者数は？

A. 延べ 244 人

13

Q. 年間どのくらいの
寄付物品が
ありますか？

A. フードバンク
寄付数 198 件
米 約 1,684 kg
他 6,580 品
オムツ
寄付数 794 個
(提供数 626 個)
生理用品
寄付数 237 個
提供数
701 セット
(昼用 1 袋 + 夜用 1 袋)
個包装 13,419 個

21

Q 1年間で集まった
・ペットボトルキャップ
・プルトップ
・使用済み切手
の量はどのくらい？

A. ペットボトルキャップ
382 件 約 2,591 kg

プルトップ
175 件 約 252 kg

使用済み切手
97 件 約 8 kg

キャップは作業所で障害者の仕事に、
プルトップは500kgで車いす1台に、
使用済み切手はハンディキャップを
抱える方の支援に繋がります！

17

Q. 福祉車両貸出
利用回数は？

A. 334 回

18

Q. 車いすの
貸出件数は？

A. 182 件

19

Q. 地域福祉権利
擁護事業の利
用者数や年間
の支援回数は？

A. 利用者数 44 人
支援回数 923 回

14

Q. 年間の電話訪問
件数は？

A. 153 件

15

Q. 学校へ手話・点字体験
等の福祉教育を何回
行っていますか？

A. 29 回

参考

草津市データ

市全体人口
140,493 人

世帯数
64,900 世帯

高齢者人口
31,560 人

高齢化率
22.5%

平均年齢
44 歳

※数値は全て令和 6 年度末時点のものです

遠い未来？も
それと

瞬？

タイムカプセルに

書かれた想い



令和7年9月27日（土）に
本会70周年記念事業を執り行いました。
同時に、令和4年3月18日開催の
ラストボランティアフェスティバルで入れた
タイムカプセルの開封式を行いました。

の様子をご紹介～



タイムカプセル朗読



70年のあゆみ上映



記念講演



表彰式典

長年地域福祉活動に携わり、本会と共に歩んでこられた地域の方々による未来の自分へ宛てたメッセージには様々な想いが込められていました。10年間、長いようであつという間に時は過ぎていきます。皆さんは未来にどのような想いを馳せますか。

長年地域福祉活動に携わり、本会と共に歩んでこられた地域の方々による未来の自分へ宛てたメッセージには様々な想いが込められていました。10年間、長いようであつという間に時は過ぎていきます。皆さんは未来にどのような想いを馳せますか。



赤い羽根共同募金運動

じぶんのまちを良くするしくみを身近な場所で

1



10月1日に街頭募金啓発を行いました
ご協力ありがとうございました！

実施場所

草津駅周辺、南草津駅周辺、
西友前、キラリエ草津他



街頭募金額合計 **55,107 円**

＼引き続きご協力をお願いします／

赤い羽根共同運動期間は**3月31日**までです
歳末たすけあい募金運動期間は**12月31日**までです

赤い羽根共同募金は滋賀県内の福祉活動や災害支援、市内の地域福祉活動への支援に
歳末たすけあい募金は生活に困窮している方への見舞金や皆様の地域での活動に全額使われます

滋賀県の共同募金のつかいみち

オンライン募金もできます！



一般・歳末募金いずれも、運動期間以外も受付けております。歳末募金は12月8日までにご協力いただけますと幸いです。

歳末たすけあい見舞金

歳末たすけあい募金は、経済的事情により生活に困っておられる世帯に支給されます。



2

対象世帯

草津市在住で経済的事情に
より生活に困っている世帯

※対象外の世帯

- ・学生世帯
- ・在宅で生活していない世帯
- ・世帯分離だが同じ家で生活を共にしている場合や近隣世帯から支援を受けている場合
- ・生活保護世帯および生活つなぎ資金の返済が滞っている場合

申請方法

必要書類をもって本会窓口
または郵送で提出
※直接持参される際は印鑑を持参
してください。

申請書類

ABCのいずれか（写し可）

A	世帯全員分（18歳以上） の非課税証明書
B	児童扶養手当証書（更新 手続き中の場合有効期限 が令和7年10月31日の 証書でも可）
C	就学援助費認定通知書

※障害がある方もしくは要介護3
以上の方がおられる世帯は障害
者手帳と介護保険被保険者証の
写しの提出をお願いします。

（加算の場合有）

※申請書は本会窓口または民生
委員・児童委員にお問い合わせ
ください。

申請期間

令和7年

11月4日（火）～11月18日（火）

17時15分まで（当日消印有効）

支給決定

12月中旬頃

※募金状況により見舞金の額に
差がでたり配分できない場合
があります。

見舞金配布

民生委員・児童委員を通じて
ご自宅にお配りします。

提出先

滋賀県共同募金会
草津市共同募金委員会
（草津市社会福祉協議会内）

〒525-0032 草津市大路2丁目1番35号
キラリエ草津4階
TEL 077-562-0084

3



ご寄付ありがとうございます

(令和7年8月1日から令和7年9月30日受付分、敬称略・順不同)

(寄付金)

●小川 10,000円 ●匿名 10,000円

(寄付付名刺)

匿名 1件 100円

(寄付物品)

●第一生命保険株式会社 滋賀支社南草津営業オフィス 生理用品2袋
●吉川寿一 リハビリパンツ11袋、尿取りパッド3袋
●日本生命 近江営業部 佐々木華奈香 生理用品6袋
●(株)パナソニック 生理用品4袋
●匿名14件 リハビリパンツ35袋、紙おむつ2袋、尿取りパッド16袋、生理用品15袋、その他1袋

(寄付食品)

●第一生命保険株式会社 滋賀支社南草津営業オフィス ●鈴木貴志 ●とびら文庫の会
●良覚寺 ●村田勘一 ●匿名12件

4

新年を祝うつどい・新成人を祝う会



恒例となりました新年を祝う会のご案内です。今年度も、成人の方たちだけでなく幼児期・学齢期世帯の皆様にも参加いただき、新成人の方へのお祝いと新年のお祝いをします。

開催日時 令和8年1月17日(土) 10:30～12:00(受付10:00～)

場所 キラリエ草津(草津市民総合交流センター) 6階大会議室(草津市大路2丁目1番35号)

参加費 無料(お土産付)

〈後援〉社会福祉法人草津市社会福祉協議会

〈協力〉日本赤十字社滋賀県支部草津市地区(赤十字奉仕団)
公益社団法人草津青年会議所

【申込・問合せ】草津手をつなぐ育成会 中島まで
TEL 090-5241-3053 FAX 077-568-0535
申し込み締め切り 12月14日(日) 先着60名

知的障害者社会参加自立支援事業

草津手をつなぐ育成会が中心となり実施する知的障害児者の社会参加を促す交流や余暇活動を支援する事業

お任せください!!

各種印刷物・ホームページ
名刺・チラシ・パンフレット

障がい者が働く作業所です!

障がいがあっても自己の能力を発揮して社会参加し、貢献することを目標としています



お問い合わせ先
特定非営利活動法人
アイ・コラボレーション
〒525-0034 草津市草津2丁目5-16

営業時間
10:00
16:00

☎ 077-569-4777
☎ 077-569-4791

アイ・コラボレーション



街づくり・家づくり・人づくり
三王不動産グループ

有限会社三王都市開発

三王ホーム株式会社

三王トラスト不動産株式会社

〒525-0034 草津市草津3丁目14番45号
電話 077(566)3017 FAX 077(566)3019

<https://www.san-o.net>

編集後記

この度は社協くさつを手に取り、お読みいただきありがとうございます。

今回の社協くさつは、いつもの社協くさつとは少し違ったイメージを受けられた方も多いかと思います。

今回の方が好き、いつもの方が読みやすい、それぞれご意見があるかと思いますが。

草津市社協が設立されて70年、社協くさつは50年以上にわたり発行してきました。

今回の社協くさつは記念号として、今一度草津市社協について知っていただき、これまで社協を支えていただいた皆様はもちろん、若い世代や社協を知らない皆様にも手に取っていただきたいと思い、発行いたしました。

作成する中で改めて、社協が地域のたくさんの皆様に支えられてここまで事業を展開できてきたのだと実感いたしました。

今後も、時代とともに暮らしは変わっていきますが、草津市社協は変わらず福祉を皆様に全力で発信していきますので、お手にとっていただきお読みいただくと幸いです。 M.U



左記よりご感想お待ちしております!

感想をいただいた方の中から10名の方にふくちゃんバッジをプレゼント!

当選者の発表はバッジの発送をもって代えさせていただきます。

※コメントは次号以降個人情報を除き掲載させていただく場合があります。

※誹謗中傷はおやめください。



心のこもった宝箱

「動ける間はボランティア」

農家に嫁いだ私は、家の作業が忙しく働くこともできない状況でした。

そんな私が、昭和52年に広報くさつの音声テープを視覚障害者のお宅に届けたのがボランティアを始めたきっかけでした。そういつた中、老人ホームが地元ででき、何かお手伝いのできないかと市社協主催の講座を受講し、点字グループを立ち上げ、平成5年には男性が初めてボランティアグループに参加いただけました。次から次へとボランティアグループができ、今や学区では13グループが活動しています。

私にとっていちばん嬉しかったことは、いろんな人たちと知り合いになれたことと仲間が増えたことです。

活動を続けてこられたのは、家族の理解や応援があったこと、孫が「おばあちゃんの背中を見て育ったから学校で高齢者の話し相手になるボランティアをしているんや。死ぬまでボランティアを続けてや」と嬉しい言葉をかけてくれたことです。

来年に向け、まちづくりセンターにもう一つカフェグループを立ち上げることが今の目標です。

これからも「動ける間はボランティア」感謝・感謝の毎日、頑張ります。

草津市社協ができて70年。

地域と歩んできた歴史の中で、いくつもの暮らしの中で生まれた
素敵な物語と出会いました。

ここでは市内で実際にあった物語を少しご紹介いたします。

草津市の素敵な物語

「つながりは永遠」

毎週一回、地域サロンに参加しているおじちゃん、90歳を超えておられます。身体は元気ですが、おばあちゃんが入院され、一人で暮らしているうちに、落とし物や物忘れが多くなってきました。

おじいちゃんは、サロンの日には、市役所から届いた手紙や文書を持ってきて、サロンボランティアに毎回相談していました。おじいちゃんにとって地域サロンは、困りごとを気軽に相談できる「なんでも相談室」でありました。

ある冬の日の出来事でした。

「家の鍵を落としてしまった。家の近くにあるはずなんだけれど、見あたらないんじや」とサロンボランティアの家に申し訳なさそうにおじいちゃんは来られました。

自分の家に入ることもできず、寒さに震えながら、立ちすくむおじいちゃんに、

「大丈夫だから、中に入って待ってて」

「温かいものを入れるからそれを飲んで待っていて」と促し、他のサロンボランティアに連絡しました。

サロンボランティアみんな、寒い中を探し回り、やっとのことで見つけることができ、とびつきのおじいちゃんの笑顔に出会いました。

しかし、このような出来事が多々続き、ついに遠方に生まれている息子さんは、サロンボランティアの皆さんにこれ以上のご迷惑をかけては申し訳ないと判断し、おじいちゃんは市外の有料老人ホームへ入所されることになりました。

月日が経ち、地域サロンでは、「おじいちゃん、元気にしているかな?」「みんなに、優しくされていたらいいね」なんて話題になっていました。

そんな中、寒さを感じる季節になったころです。

地域サロンの活動日に、おじいちゃんが、ひよつこりサロンに顔を見せたのです。

「このサロンがどうしても忘れられず、やって来てしまったよ」と笑いながら来られました。「なんか、相談ごとがあるの」とサロンボランティアが笑いながら言うと、「何もあらへん。みんなの顔が見たかったんや」

おじいちゃんは、今でも、なじみのみんなと何気ない話をし、毎週、楽しいひと時を過ごされています。

ただ一つ違うのは、時々若いヘルパーさんが付いてきていることぐらいです。

暮らしのつながりは、そこに住んでいるとか、住んでいないではなく、心のつながりを感じするものだと思われかれました。

つながりは、心であり、紡がれた「心は永遠」であることを感じました。

地域サロンをきっかけにした、草津市のみなさんの「つながり」の素敵な物語が、ここにあります。

おじいちゃん、これからも来てください。ずっと、笑っていてください。いつも待っています。

